

クルマは何を運ぶもの？

～ トヨタのココロハコブプロジェクト ～

トヨタは、2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地に対し、様々な支援を行っています。自動車販売会社として売上増加を目指すだけでなく、「クルマ」の役割についてあらためて考え、日本のためにできることを何かしたい、という思いから「ココロハコブプロジェクト」を始めました。

《トヨタのHPにおける「ココロハコブプロジェクト」の紹介》



ココロハコブプロジェクトとは

わたしたちは、考えました。

クルマは、人やモノを運ぶだけのものじゃない。
あしたに向かうための、希望や元気も運べるはずだ、と。

全国のみなさまの、あたたかなご支援のココロと、
わたしたちひとりひとりの「自分も何か役に立ちたい」というココロ。

ふたつのココロをひとつに合わせて、被災地へハコビたい。

このプロジェクトは、そんな想いから生まれました。

たくさんの笑顔に出会えるように、さまざまな活動を少しでも長く。

ココロハコブプロジェクト、はじめています。

■支援物資の提供■

■クルマの提供■

■被災地の子ども・ 人材の教育の支援■

■寄付金・ 義援金の提供■

■各種イベントの開催■

■ボランティア・ 人的支援■

■地産品の活用■

■文化・芸術活動 を通じた支援■

このプロジェクトでは、物資の運搬、寄付活動といった物質的・経済的な支援だけでなく、宮城や岩手などの小学校で特別公開授業も行われました。スタッフは、東北地区はもちろん、東京からも現地に駆けつけボランティアで運営に携わりました。

被災地に不足している物資を供給するだけでなく、子ども達の心をあたたかくするこの取り組みは、子ども達の大好きなクルマの会社だからできたことかもしれません。また、すぐに物や形となって表れなくても何年も子ども達の心の中に残る財産となったはずです。トヨタはこのプロジェクトにおいて「明日に向かうための、希望や元気」を運んでいるのです。